**定期報告（ウルグアイ内政・外交：２０１６年８月）**

【内政】

１　与党拡大戦線の総裁選出

1. ７月２４日に実施された与党拡大戦線（ＦＡ）総裁選について，ＦＡは８月５日，ハビエル・ミランダ候補の当選を発表した。
2. 候補者及び得票率は以下のとおり。
3. ハビエル・ミランダ(無派閥)：３７．５％，セレグニ戦線及び社会党が支持
4. アレハンドロ・サンチェス(ＭＰＰ)：３０．６％，ＭＰＰ及びＩＲが支持
5. ロベルト・コンデ（無派閥）：２５．１％，共産党及び人民の勝利のための政党（ＰＶＰ）が支持
6. ホセ・バジャルディ（Vertiente Artiguista）：６．６％

２　ウイドブロ国防相死去

　５日，ウイドブロ国防大臣が慢性閉塞性肺疾患のため死亡した。同大臣は都市ゲリラ「トゥパマロス」出身で，ムヒカ前大統領の側近の１人であった。後任には，メネンデス国防次官が就任した。

３　国民党の結成１８０周年式典

　１４日，国民党は結成１８０周年を祝し式典を行った。

【外交】

１　コスグローブ豪総督の訪ウ

　８日，ウルグアイを訪問中のコスグローブ豪総督はバスケス大統領と会談し，貿易の拡大等につき議論した。

２　レインデルス・ベルギー外相の訪ウ

（１）９日，ウルグアイを公式訪問中のレインデルス・ベルギー外相はニン・ノボア外相と会談を行い，地域情勢，二国間関係，国際社会での協力について議論した。ウルグアイは，ワーキング・ホリデー・ビザに関する二国間協定の署名を提案した。

（２）レインデルス外相とロッシ交通公共事業大臣は同日，モンテビデオ港多目的ターミナルＣの増築に関する契約書に署名した。同事業は，ソレタンシュ・バシー社（仏），SACEEM社（ウルグアイ），Dredging International社（ベルギー）による合弁会社が請負い，８月１１日に着工予定，工期は約１年。

３　ニーニスト・フィンランド大統領の訪ウ

　１７日，ウルグアイを訪問中のニーニスト・フィンランド大統領は，バスケス大統領との会談（ニン・ノボア外相，トマ官房長官，ロバージョ同副長官，サデル在フィランド・ウルグアイ大使同席）を実施した。

４　メルコスール議長国移行問題を巡る伯との対立

1. １６日付当地主要紙は，ニン・ノボア外相が１０日に開催された下院外交委員会において，セーハ伯外相は７月の訪ウ時に，ベネズエラのメルコスール議長国就任を阻止するためウルグアイの票を買おうとした旨発言したと報じた。
2. これに対し伯外務省は，１６日にアモリン在伯ウルグアイ大使に抗議を行った。
3. １７日，ウルグアイ外務省は，本件は誤解であった旨のプレスリリースを発出した。

【治安・社会】

１　空軍機の墜落事故

　１２日及び１７日，訓練中のウルグアイ空軍機が墜落し，それぞれ２名ずつが死亡した。ウルグアイ空軍所有の軍用機は老朽化しており，使用可能な機体は全８１機のうち３９．０２％のみとされている。

２　カラスコ国際空港における自動入国手続の導入

　１９日より，カラスコ国際空港において，ＩＣチップ入りの身分証・旅券を保持する１８歳以上のウルグアイ国民の自動入国手続が開始された。ウルグアイに居住する外国人は対象外。入管職員による入国審査の所要時間が平均４５秒であるのに対し，同手続きは平均１５秒で完了し，空港の混雑緩和が期待される。

３　技術大学南西地方分校の開校

（１）２８日，リオネグロ県フライ・ベントス市に技術大学（ＵＴＥＣ）南西地方分校（ＩＴＲ　Ｓｕｒｏｅｔｅ）が開校した。同校は２０１３年にムヒカ前大統領が着手したＵＴＥＣ創設プロジェクトにおける，初の独自施設である。今後ドゥラスノ県，リベラ県でも地方分校が開校予定。

（２）校舎の面積は３４００㎡，２０００名の学生を受入れ可能。同校では，精密工学，生体医学，乳生産，乳製品加工技術，情報工学，ジャズ・創作音楽等のコースを開講予定。

４　元グアンタナモ収容囚のウルグアイへの送還

第三国への渡航を希望しウルグアイを出国し，７月からベネズエラ当局に身柄を拘束されていた元グアンタナモ収容囚・ジェハド・アフマド・ディヤブ氏は３０日，ベネズエラからウルグアイに送還された。渡航先としてアラブ諸国を希望しているものの，トルコ，カタール，レバノンは既に受入れを拒否しており調整が難航している。

【要人往来】

○往訪

・５日，カセレス・スポーツ庁長官訪伯（リオ・オリンピック開会式出席）

・２９日，アゲレ農牧水産相訪伯（メルコスール農牧大臣会合出席）

○来訪

・９日，コスグローブ豪総督

・９日，レインデルス・ベルギー副首相兼外相（往電第６８２号）

・１０日，イスラエル議員団

・１６日，ニーニスト・フィンランド大統領

（了）